

## 総会資料

## 平成 21 年度事業計画

## 1:21 年度 「ふれあいの森」における活動計画

## (1) 「ふれあいの森」位置・面積

位 置	面 積
大山 国有林 606 林班 ろに 小班	15Ha
丸山上 民地 (小西顧問 所有) 第 1 農場	幼木農場
丸山下 民地 (小西顧問 所有) 第 2 農場	ブナの子農場

## (2) 活動計画 苗床の作業・委託分を検討して軽減を図る

活動の内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	合計回
幼木の管理 (民地)		1	2	2	1	1	1	1	1			
苗床の管理 (民地)	2	2	2	*	*	2	2	*	*	*		
植樹 体験林業	6月 最低でも 本 → 雪害で補植						6	6	○			
植樹地の管理				1		1						
研修会・他		1	1					1	1		3	
ブナの学習会	2	2	2	2	2		2	2	2			
調査		1							1			
オオヤマザクラの増殖	2	3	2	1						名所作り		

- \* 民地での苗床の管理は計画以上の作業を必要とする
- \* 農場の活動日を 毎月第 2,4 土曜日 9 時～午前中・定例化  
現実はそれだけでは管理できないので、定例の作業日以外も自由参加とし行っています。  
様子の分かる者が必ず出かけるようにしますので事務局まで連絡を。
- \* 農作業日誌に記入も続ける。
- \* その他の活動は 事務局から連絡するし、問い合わせもしてもらう。

## 2 : 幼木の管理・苗床の管理

- 草とモグラの悩みの解決策を
- モグラに対しては周囲に土中ヘフェンスを設け、地上部はウサギネットで検討したい
- 草取りによる会員への負担を軽減したい。丸山地区の農家の人の委託を考えている
- 1本仕立てとコウモリ蛾の幼虫パトロール

## 3 : 体験林業・ブナ・・・準備作業を含めて一般にも募集

- 「大山ふれあいの森」・11月 1 日に体験林業。
- 準備作業を 9 月の付から開始する。200 本を目標
- 植林後地の草刈り
- 「大山ふれあいの森」・標識の設置・記念植樹の標識設置

## 4：オオヤマザクラの増殖

ブナの活動が全てですが、それを継続して楽しく出来る副の作業です。春に集中的に行う。これは楽しくやるのが一番です。

- オオヤマザクラの育成と大山国立公園内のオオヤマザクラのマップ作りに取り組みたい・昨年の資料を肉づけする・・・・・・一般に公開依頼
- オオヤマザクラの桜並木作りに協力（丸山地区）
- 桧水原と大山寺近郊を中心に整備したい。  
桜の植樹 15本 整備本数 30本

## 5:研修会の充実

- 作業後の学習会は今までどおり実施
- 県の植樹祭(春)・森林作業者研修会(夏)・森林管理署主催自然観察会(秋)・山陰ネットワーク等に積極的に参加する
- ブナの講演会・・・期日・講師は未定・・・積極的に、回数は限定せずに  
主催を協賛でも
- 大山ブナの写真展と私とブナを語る…会員
- 観察会と懇親会

## 6:会員の拡大

- ブナの里親運動・・・成木 50 本
- 会の活動報告・・・新聞・テレビで報道・ホームページの改善
- 会の写真による活動を展示・・・

## 7:事務局の充実と役割分担の推進

メールの活用 封筒の印刷 会員証の廃止・・残すように提案あり

会計業務の簡素化 ・・・会費納入は振込で

作業の役割分担・・・・できるものから実施しているが、状況を見て

更に推進する。

## 8:その他

会の活性化のためにいろいろな企画をしていく。但し、これだけのためにはやらない。

- \* 山菜(含む・秋のキノコ)採りと食べ方
- \* マジミの繁殖の追跡・・・中止
- \* 菖の栽培をしてお土産を
- \* 他エコ体験・ネイチャー教室に協力・リーダーの養成  
その他.....